

121 press

いちにいち・ぷれす

せんがわ劇場応援マガジン 第5号 (平成26年4月15日発行/企画・編集:せんがわ劇場市民サポーター)

新年度を迎えて最初の発行となる今号では、調布市せんがわ劇場が独自に企画・発信する今年度(平成二十六年度)の主な催しをご紹介します。昨年十一月に四代目の館長として就任された、せんがわ劇場担当課長の伊藤さんには、今年度の劇場の注力ポイントについて寄稿いただきました。

また、二く三面では、昨年度のせんがわ劇場の活動を振り返り、総括してご紹介します。

今後も「121プレス」では、せんがわ劇場の魅力をお伝えすべく、紙面の充実につとめて参ります。どうぞご期待ください。



調布市せんがわ劇場の外観

今年度のせんがわ劇場の主な企画

- | | |
|--|---|
| 4月 15日(火) 演劇コンクール参加団体募集締切 | 11月 市民参加演劇事業 成果発表公演
(舞台技術、身体表現、演劇、劇場運営などの一連のワークショップを予定しています) |
| 27日(日) サンデー・マティネ・コンサート
(ミニ企画を同時開催します) | 12月 せんがわシアター121「紙屋悦子の青春」
クリスマス公演 |
| 5月 21日(水)~7月2日(水) 朗読ワークショップ
24日(土) ファミリー音楽プログラム | 1月 桐朋学園芸術短期大学 地域連携演劇公演 |
| 6月 14日(土)~7月1日(火)
せんがわシアター121・リーディング公演
オープンシアター(仮) | 2月 新作演劇公演 |
| 7月 12日(土)、13日(日) 第5回演劇コンクール本選 | 3月 演劇コンクール受賞団体公演 |
| 8月 第3回せんがわピアノオーディション | ☆通年(月1~2回程度開催)
サンデー・マティネ・コンサート~午後への前奏曲~
(初回は4月27日(日)) |
| 9月 JAZZ ART せんがわ 2014 | |

○平成二十六年度の注力ポイント

当劇場では、昨年五月に今後十年の劇場のあり方を見据えた「せんがわ劇場運営プラン」を策定しました。二十六年度はその二年目となりますが、「市民・地域の文化が育まれ、まちの誇りとなる劇場」の実現に向けて引き続き事業を展開してまいります。

具体的には、開館以来、今年で七回目になる「JAZZ ART せんがわ」や、過去に好評をいただいた公演のリバイバル。また、せんがわ劇場の特色であるワークショップ等市民の皆様にも参加していただき、演劇や音楽の楽しさ、面白さを知っていただけるような事業も充実させてまいります。

○どんな劇場にしていきたいか

昨年十一月に初めて劇場に来た時、思っていた以上に小さな劇場で正直驚きました。しかし、「紙屋悦子の青春」「彼女の素肌」「青い鳥」「おらほの時代」と公演があり、毎回多くのお客様に来ていただき感謝しています。また、公演を通じ、キャストやスタッフは勿論、劇場が市民サポーターの皆さん、また仙川商店街や桐朋学園、百合合女子大学などの地域の方々に支えられていることを改めて知り、これが、せんがわ劇場のすばらしいところだと実感しました。

ともすればうっかり前を通り過ぎてしまうような小さな劇場ですが、今後も地域の皆様に愛され、また、気軽に足を運んでいただける劇場にしていきたいと思えます。



調布市

生活文化スポーツ部
文化振興課

せんがわ劇場担当課長

伊藤光幸